



宿泊学習（1年生）・職場体験学習（2年生） ・修学旅行（3年生）が行われました。



宿泊学習（1年生） 1年生は、5月15日・16日の2日間にわたり那須甲子青少年自然の家で1泊2日の宿泊学習が行われました。

入学してはじめての学校行事となりましたが、引率した先生方の報告によると、すばらしい集団行動がとれ、自然の家の職員の方にも落ち着いてよいお子さんですねと褒められたとのこと。さらに、この行事を通してリーダーが育ったとの報告も受けました。磨けば光る原石。保護者の方としっかり磨いていきたいと思います。

宿泊学習を振り返って

宿泊学習実行委員長 村田涼弥

中学校に入学して初めての大きな行事である宿泊学習。一番の思いでは実行委員長として参加したことです。人前に立って話したり、作文を書いたりすることは苦手なので、出発式や解散式でのあいさつを考えるのは大変でした。学年全体をまとめたり、動かしたりすることも簡単にはいかず、先生方のご苦労が少し分かったような気がします。

その他にもたくさんの思い出ができましたが、活動の中では野外炊飯がとても心に残っています。班の仲間と協力して準備から片付けまでしっかりできたと思います。片付けの時、僕は釜を洗う係でしたが、自然の家の方から合格をもらうために30分位かけて、一生懸命磨きました。この体験を通して、物を大切に扱うこと、食事を作る楽しさや楽しさ、感謝の気持ちなどを学ぶことができました。

今後はもっときびきび行動すること、時間やルールを守ること、公共のマナーに気をつけることを心がけていきたいです。

職場体験学習（2年生） 2年生が5月28日（水）から30日（金）にかけて職場体験学習を実施しました。キャリア教育の一環として実施していますが、体験場所の決定から、アポイントメントの取り方等も通して、社会に出て必要と思われることについて学ぶことができました。この体験を通して、将来立派な社会人として地域や社会に貢献できる大人に育ってくれればと思っています。

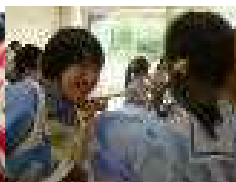
職場体験学習を終えて

田口智広

5月28日から5月30日までの3日間、職場体験学習をしてきました。一人一人が体験させていただき事業所に行き、働くことの大切さをそれぞれ学んできました。

僕は東武栃木駅にお世話になりました。駅には様々な仕事がありますが、主に駅員の仕事を体験しました。まず最初にホームに上がってホーム案内という仕事をしました。ここでは、ワイヤレスマイクを持ってアナウンスしたり、ホームやレールの安全確認などをしました。アナウンスでは、最初は簡単だと思いましたが、案外うまく話せず、意外に難しいものだと感じました。特に驚いたことは、ホームでの安全確認です。駅員がホームに立って安全確認をすることは知っていましたが、列車が到着する前、到着した後、出発した後の3回も確認することは知りませんでした。それだけ鉄道は、安全を重視し、事故を起こさないように心がけているものだと思います。感動しました。もちろん、鉄道の安全は、駅員だけが確保しているわけではありません。列車を運転する乗務員、線路や電気設備を保守する係員それぞれが協力し合って鉄道は安全に運行しています。

2日間の体験学習で、あいさつの大切さも学びました。



僕は人と話すことがあまり得意ではないのであいさつが一番大変でした。朝、職場の方へ「おはようございます」と言うのさえ小さな声でしか言えませんでした。しかし、こんな僕に職場の方が声をかけてくださいました。「もう少し元気な声でね」など優しく声をかけてくださったので自分なりにがんばろうと思いました。



この3日間の体験学習で、安全の大切さ、あいさつの良さを学びました。安全というのはどの職業、さらには学校、家でも、どこにでも最優先に考えられる言葉ではないでしょうか。安全がなければ何も始まりません。僕は、あいさつができ、安全が守れ、自分の職業に胸を張れる職業人になりたいです。

修学旅行（3年生） 5月28日から2泊3日の日程で、京都・奈良への修学旅行に行ってきました。天候（ちょっぴり暑め）にも恵まれ充実した3日間を過ごすことができました。特に、2日目午後の班別自由行動では公共交通機関を使って自分たちの足で見学地に向かい学習できたことは大きな成果だったと思います。道に迷い、定刻にホテルに帰ってこられない班もありましたがそれも貴重な経験であり学習だったと思います。3年生にとっては、ひとつひとつの行事が義務教育最後になっていきます。これからの行事にも、まわりの友だちと協力しながら充実したものになるよう取り組んで欲しいと願っています。



いつかもう一度京都へ行こう

実行委員長 古山 香蓮

この修学旅行では、友達の大切さはもちろんのこと、京都の方々の、温かさや古都の文化を守る努力にも触れることができ、本当に充実した3日間でした。

1日目は、6時20分ころ小山駅を出発、午前10時ころには京都駅に到着しました。そして、京都駅に着いてからはクラス別研修になりました。大きく二手に分かれ、平等院、法隆寺、東大寺を巡りました。奈良を見学して感じたことは、日本文化の魅力です。この3つの見学地には、大仏をはじめ多くの仏像や美術品等、日本文化の象徴と言えるものばかりが残っていました。遥か古から今日まで続く、日本の素晴らしい文化を肌で感じることができました。

2日目は、班別研修で、それぞれの想いを胸に、京都を散策しました。古都にふさわしく着物を着て京都の町を歩いた班、伝統工芸品づくりを体験し、その技の奥深さを感じた班、等々。それぞれが綿密に計画を立て、班別研修に臨みましたが、机上の計画通りにはいかないこともありました。しかし、班員全員で協力し、何とか宿泊先のホテルに全班戻ってることができました。これは大きな収穫だったと思います。また、京都の町並みを身近に感じられたことも大きな経験でした。午後からの公共交通機関を利用した見学では、薄暑の中歩く生徒の姿も多く見られ、古都の良さを肌で感じている人も多かったと思います。

修学旅行最終日は、クラス別研修でした。しかし、やはり受験生、全クラス最初の目的地は北野天満宮でした。学年全員で真剣に合格祈願をしました。その後、クラス毎に念珠、扇子、箸という伝統工芸品作りを体験。一人一人の想いが込められた、たくさんの作品が仕上がりました。こうした体験を通して、昔からの伝統文化を絶やさないう、努力されている方々の存在を知りました。工芸品自体は新しくても、作る道具が昔からの物だったり、古くからの歴史があったり、それを聞くだけでも参考になることが数多くありました。この3日間、多くの人に支えられて無事帰宅しました。奈良、京都という古都の魅力の虜となり、「もう一度行きたい」と言っている人も多くいました。この奈良・京都で学んだことは、一生忘れません。この素敵な仲間達と一緒に修学旅行に行けた奇跡も決して忘れません。

生徒会総会が行われました

6月10日（火）生徒会総会が行われました。今年度最初の生徒会総会で、生徒会の活動方針や各専門委員会の目標・活動方針、予算案などについて審議されました。生徒会活動も年々活発になってきています。生徒会活動は生徒会長をリーダーとする役員（専門委員長等）のリーダーシップと会員によるフォロワーシップが大切であることを常々話しています。今年度も清水元気生徒会長を中心に今まで以上の活気ある生徒会活動を展開してくれるものと期待しています。保護者・地域の皆様には、アルミ缶回収などでご協力いただいていることに感謝いたします。

各専門委員会目標及び活動方針

生活委員会 栃木まゆ委員長 【目標】 東陽中を明るく元氣なあいさつであふれさせよう 【活動方針】 以前、中央委員会が行っていた仕事を引き継ぐ 【スローガン】 凡事徹底！！東陽中を明るく元氣に	図書委員会 小岩舞星委員長 【目標】 全校生徒に1ヶ月3冊以上の貸出を目指す 【活動方針】 文化活動の中心地として、図書室で全校生徒が来たる活動を取り入れる 【スローガン】 一人でも多くの人に利用してもらえよう図書室づくり
学習委員会 西浦結夏委員長 【目標】 東陽中生徒の学力向上のために5分前入室を心がけ、2分前着席を徹底すると共に自主学習にしっかり取り組めるようにする 【活動方針】 積極的に話し合い活動に参加し責任を持って委員会活動に取り組む 【スローガン】 一人一人の意見を尊重し、明るく活動する	交通委員会 松井美憂委員長 【目標】 交通ルールを守って、地域の人たちから愛される東陽中生にしよう 【活動方針】 自分たちが交通ルールを守って手本となり、学校全体に呼びかける 【スローガン】 達成しよう交通事故ゼロ みんなで守ろう東陽中
放送委員会 柿下将哉委員長 【目標】 学校の時間を動かしているという自覚と責任を持ち行動する 【活動方針】 一人ひとりが放送委員という自覚を持ち最後まで仕事をやり遂げる 【スローガン】 目指せ学校のアナウンサー	美化委員会 酒井玲奈委員長 【目標】 一人ひとりが責任ある行動をし美化活動に取り組む 【活動方針】 決められた日にち以外の仕事も率先して行う 【スローガン】 世界一綺麗な学校&心を目指す
保健委員会 村上歩希委員長 【目標】 生徒が健康で衛生的な生活ができるように手助けをする 【活動方針】 病気の予防に努める・衛生検査や教室の換気、加湿器の管理をする 【スローガン】 みんなの健康を第一に守る！	体育委員会 森脇柚香委員長 【目標】 全校生徒が元気に楽しく過ごせる環境を作る 【活動方針】 全校生徒が楽しめる行事を運営する 【スローガン】 全校生徒が楽しめるように、一人ひとりが責任を持って行動する
出版委員会 石川拓也委員長 【目標】 東陽中をより知り、より好きになる出版物を作る 【活動方針】 人任せにしないで一人一人責任を持って仕事をする【スローガン】元氣、協力、向上心、もちろん期限も忘れずに	給食委員会 栃木広夢委員長 【目標】 時間を守り、自覚を持って最後まで仕事に取り組む 【活動方針】 責任を持ち自主的・積極的に仕事をする 【スローガン】 全員で協力して責任を持って仕事しよう
福祉委員会 島田はるか委員長 【目標】 生徒みんなで協力して、世界の子どものため地域のために役立つ活動をしよう 【活動方針】 一人ひとりが福祉に関心を持ち積極的に行動する 【スローガン】 人と人とのつながりを大切に明るい東陽中を作ろう	緑化委員会 川田拓実委員長 【目標】 東陽中の生徒が心地よく生活するための環境づくり 【活動方針】 委員一人ひとりが責任を持ち、緑で居心地の良い空間を作る ・互いに協力し、校内の環境美化に努め、美化活動をアピールし、学校全体で緑を増やす活動を行う！ 【スローガン】 増やそう自然と優しい心を
町内別委員会 栃木めぐみ委員長 【目標】 地域の一員である自覚を持ち、活動を通して環境について考えたり、地域の方とのふれあいを大切にする 【活動方針】 地域の方と共にリサイクル品回収や奉仕作業の活動に取り組み、地域に貢献できる生徒の育成を目指したいと考えている 【スローガン】 地域のため環境のために自分ができることを探そう	部活動委員会 大貫征土委員長 【目標】 一つでも多くの部活動が県、関東、全国に出場するための手助けをする 【活動方針】 部長として各部をしっかり引っ張っていく 【スローガン】 大会などの成績向上を目指す

地区大会・県大会結果

地区大会

陸上（男子） 共通800m野中拓海（3位県大会出場） 共通1500m梅沢龍輝（4位）
 1年1500m田中光樹（1位県大会出場） 早川優太郎（2位県大会出場）
 陸上（女子） 共通100mハードル鈴木実沙樹（4位）
 野球 敗者復活戦勝利（県大会出場）
 バレーボール（男子） 第3位（県大会出場） バレーボール（女子） 第8位
 バドミントン（男子） 団体敗退 個人シングルス天海晴智（5位県大会出場）
 ダブルス山口浩平・森田雄基（7位県大会出場）
 バドミントン（女子） 団体敗退 ダブルス高久天夢・小松崎雅（11位県大会出場）
 バスケットボール（男子） （5位県大会出場） バスケットボール（女子） 1回戦敗退
 卓球（男子） 団体6位（県大会出場） 個人シングルス 渡辺志門・坊垣内健太（県大会出場）
 卓球（女子） 決勝トーナメント1回戦敗退
 ソフトテニス（男子） 団体敗退 個人戦敗退 ソフトテニス（女子） 団体敗退 個人戦敗退
 サッカー ベスト8
 剣道（男子） 団体3位（県大会出場） 個人 牧田悠翔・篠原成輝（県大会出場）
 （女子） 団体敗退 個人 石崎慎鈴（県大会出場）
 ハンドボール 1回戦敗退
 柔道 個人敗退

県大会

陸上（男子） 共通男子800m野中拓海（入賞ならず）
 1年男子1500m田中光樹2位 早川優太郎5位
 野球 ベスト16 バレーボール（男子） 1回戦敗退



バドミントン（男子）個人シングルス 天海晴智 2回戦敗退
 ダブルス 山口浩平・森田雄基 ベスト 8
 バドミントン（女子）ダブルス 高久天夢・小松崎雅 1回戦敗退
 バスケットボール（男子）ベスト 16
 卓球（男子）団体 1回戦敗退
 個人ダブルス 渡辺志門・坊垣内健太 1回戦敗退
 剣道（男子）団体 1回戦敗退 個人 牧田悠翔 1回戦敗退・篠原成輝 2回戦敗退
 （女子）個人 石崎慎鈴 1回戦敗退
 ハンドボール 1回戦敗退



「性に関する指導」講演会が行われました

13日（金）の総合的な学習の時間を使って、2年生（5時間目）・3年生（6時間目）が性に関する講話を聞きました。2年生は「大切な命」、3年生は「考えよう生と性」という演題で、マザーズはうす助産師の天海一美先生からお話を伺いました。

本校では、3年前から学年進行に伴って内容を変え「性教育」を計画的に行っています。天海先生には昨年に続きご講話をお願いしました。

2年生の講話では、生命の誕生の話から健康な生活を送るために必要なこと、さらに思春期の心、10代の妊娠・出産などの講話をいただき、人生設計の中で、育てられるようになるまでは妊娠をしないことの大切さをお話になりました。

3年生の講話では、人工妊娠中絶の話や性感染症の話などから男女間で大切なことは、互いに思いやることや尊重することそして共に成長することの大切などのお話をいただきました。

多くの生徒が、真剣に「性」に関する知識や理解を深めることができました。

教育相談実施

本校では教育相談を学期に一回位置づけて実施しています。教育相談を行うことによって、子どもたちが今持っているであろう悩み事などに耳を傾け、子どもたちの心がより安定し、充実した学校生活や家庭生活を送れるようにしようとするものです。今回の教育相談は本日で終了しましたが、教育相談期間中でなくても随時、相談に応じて、問題等の予防や解決に取り組んでいきます。教育相談期間は生徒を対象としたものですが、保護者の方のお悩み等についても随時ご相談に応じますので、何かございましたら担任や学年主任にご連絡ください。

登録率約94%

メール一斉配信の登録率が約94%に達しました。メール一斉配信では、緊急性のあるものを一番に、次に学校からの連絡（通知プリント配布のお知らせ）など、いろいろな場で活用していきます。こんなことまで配信しなくてもという内容もあるかもしれませんが、寛大なお心でお許しいただければと思います。まだ未加入の保護者の方は是非登録をお願いします。また、ホームページも随時更新しておりますので、お時間のあるときにアクセスしてみてください。

《Coffee break》

サッカーW杯ブラジル大会

サッカーのワールドカップが始まりました。7月中旬まで続くこの大会では見所がたくさんありそうです。日本は1998年に初めてWカップに出場することができました。1994年にもう一步のところで（いわゆるドーハの悲劇）出場を逃しましたが1998年大会以降は5回連続の出場になります。今では、日本がWカップに出場することは当たり前のようになっていますが、それまではWカップに出ることは夢のまた夢でした。多分、自分などは自分が生きている間はでられないだろうなと思っていましたので、日本サッカー界の発展の著しいことは何と表現したらよいか分かりません。（2002の日韓Wカップは、VSロシア戦を横浜スタジアムまで行って息子と応援をしてきました。Wカップ初勝利をこの目で直に見られるなんて）日本のWカップ出場はJリーグの発足（1993）と重なります。サッカーをやって「飯が食える」。日本では、野球では飯が食えてもサッカーでは飯が食えない。しかしJリーグができ、プロ化されたことによって「飯が食える」ようになり優秀な人材が育ってきました。サッカープレーヤーが職業として成り立つようになったわけですから、強くなるのも必然だったのかもしれませんが、今や海外で活躍する選手も多く、代表選手の多くは海外のプレーヤーです。隔世の感があります。

さて、Wカップに出ることが当たり前になったとしても、リーグを勝ち抜け、決勝トーナメントに進むのは困難です。前回はベスト16になりましたが、さて今回の大会結果は？



